

高知県立消費生活センター

地域見守り情報



引き続き「個人情報」に関する不審な電話に注意！！

36号で個人情報の削除をもちかける電話について注意喚起したところですが、引き続き同様の相談が寄せられています。また、公的機関をかたって個人情報を聞き出そうとする事例もあり、「個人情報」に関する電話に注意が必要です。

【県内事例①】 Aという男から「あなたの家に色々な所から電話がかかってくるのではないか。名簿を削除したらどうか」と電話があった。料金など確認せずに削除を頼むと、再度電話があり、「1件削除できたが、他はできないので別の人を紹介する」と言われた。その後Bという男から電話がかかり、「削除したので、削除番号を控えておくように」と言われて控えると、今度はCという男から電話があり、「名簿を削除したか。番号を教えてください」と言うので番号を教えた。その後Aから電話があり「Bがあなたの代わりに削除費用500万円を支払ったので、お金を用意して宅配便で送るように。削除番号は誰にも話していないか」と言うので、番号を話したことを伝えると、「犯罪なのであなたの家に警察を行かせる。裁判にする」と脅かされ、怖くなって500万円支払うと伝えると、「金融機関では振り込め詐欺ではないと言え。犯罪に加担しているので、捕まりたくなかったら絶対に人には言わないように」と口止めされた。タクシーで金融機関へ行こうとしたところ、娘に知られ、センターに相談した。(80代女性)

【県内事例②】 国税局の職員を名乗る男から電話があり、「税金の調査をしている」と言って、1人暮らしかどうか、年金は受給しているか、年金の受取はどこの金融機関かなどを聞かれた。(70代女性)

* 国税庁HPにも同様事例についての注意喚起が掲載されています。

<http://www.nta.go.jp/sonota/sonota/osirase/topics/attention.htm>



©KANAGAWA2013

アドバイス

1. このような電話は相手にせず、すぐに電話を切りましょう。
公的機関の職員が、家族構成や年金などについて問い合わせることはありません。
2. 現金を宅配便で送らせる手口も増えていますが、送金したお金を取り戻すのは困難です。指示されても、絶対に従ってはいけません。
3. 不審に感じたときは、すぐに警察（全国共通短縮ダイヤル#9110）や消費生活センターへ連絡して下さい。

☎ 高知県立消費生活センター 088-824-0999